【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成30年7月5日(2018.7.5)

【公開番号】特開2018-80339(P2018-80339A)
【公開日】平成30年5月24日(2018.5.24)
【年通号数】公開・登録公報2018-019
【出願番号】特願2017-234217(P2017-234217)
【国際特許分類】
Ｃ０９Ｄ 123/00 (2006.01)
Ｃ０９Ｄ 123/12 (2006.01)
Ｃ０９Ｄ 123/26 (2006.01)
Ｃ０９Ｄ 7/40 (2018.01)
Ｃ０９Ｄ 201/00 (2006.01)
Ｃ０９Ｄ 5/00 (2006.01)
Ｂ３２Ｂ 27/32 (2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０９Ｄ 123/00
Ｃ０９Ｄ 123/12
Ｃ０９Ｄ 123/26
Ｃ０９Ｄ 7/12
Ｃ０９Ｄ 201/00
Ｃ０９Ｄ 5/00 Ｄ
Ｂ３２Ｂ 27/32 １０１
Ｂ３２Ｂ 27/32 Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成30年3月30日(2018.3.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも６０重量パーセントの第一の官能性化プロピレン／エチレンコポリマーであって、５～１５重量パーセントのエチレンに由来する単位、及び、３～６重量パーセントの１以上のグラフト化された非無水物の置換に由来する単位であって、ポリオレフィンの骨格上におけるアミン、イミド、およびヒドロキシルからなる群から選択されるグラフト化された非無水物の置換に由来する単位、ただし前記グラフト化された非無水物の置換がヒドロキシルであるときには少なくとも１つのグラフト化されたアミンの非無水物の置換を要する第一の官能性化ポリオレフィン、および、
所望により、固形分の全重量に基づいて５～４０重量パーセント未満の第二の官能性化ポリオレフィンであって、前記第二の官能性化ポリオレフィンは、プロピレンのホモポリマー、またはプロピレンとヘキセン、オクテンおよび／または他のα－オレフィンとのコポリマーを含み、前記ホモポリマーまたはコポリマーは、ポリプロピレンの骨格上に、単一の不飽和、末端無水コハク酸部位、およびさらなる無水コハク酸置換を有し、ここで、前記無水コハク酸置換は第二の官能性化ポリオレフィンの約５～約４５重量パーセントの範囲である第二の官能性化ポリオレフィン、
の混合生成物；

１以上の溶媒；および
所望により、１以上の充填剤、１以上のバインダー、および１以上の顔料から選択される、１以上のさらなる成分
から実質的になることを特徴とする接着促進剤システム。